

お知らせ

記者発表資料 | 平成29年1月12日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成28年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会 第3回定例会議の議事概要について

中国地方整備局入札監視委員は第一部会第3回定例会議を平成28年12月13日（火）に開催しました。

会議では平成28年7月1日から平成28年9月30日までの間に発注した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した10件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議がなされました。

議事概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

（第一部会）082-221-9231（代表）

主任監査官	あかぎ まもる 赤木 護	（内線2114）
総務部 契約管理官	きのした かずたか 木野下 和孝	（内線2222）
企画部 技術開発調整官	なかがわ てつし 中川 哲志	（内線3120）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	さかや まさゆき 坂屋 政之	（内線2117）
企画部 環境調整官	まつもと はるお 松本 治男	（内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成28年12月13日（火） 14時00分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 河合 研至（大学院教授） 委員 平野 実（大学教授） 委員 近森 秀高（大学院教授） 委員 福田 和恵（公認会計士） 委員 水中 誠三（弁護士）	
審議対象期間	平成28年7月1日 ～ 平成28年9月30日	
抽出案件	総件数 10件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO 対象）	1件	
一般競争入札方式 （WTO 対象外）	4件	
指名競争入札方式	1件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
指名競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

抽出事案一覧表

【工事】

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
倉敷立体高梁川大橋下部その9工事	一般土木工事	9	9	平成28年7月7日	西松建設(株)

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
国道54号甲田外舗装修繕工事	アスファルト舗装工事	12	12	平成28年8月10日	前田道路(株)
国道2号・54号細野橋外橋梁補修工事	維持修繕工事	6	6	平成28年9月9日	山陽工業(株)
芦田川河口堰ゲート整備工事	機械設備工事	2	2	平成28年8月30日	東洋プラント(株)
苫田ダム放流警報設備工事	通信設備工事	5	5	平成28年9月7日	三菱電機(株)

(指名競争入札方式)

工事名	工事種別	指名業者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
下関合同庁舎建築その他改修工事	建築工事	152	5	平成28年9月23日	豊栄建設(株)

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
小瀬川高潮堤防詳細設計外業務	土木関係建設コンサルタント業務	3	3	平成28年7月6日	三井共同建設コンサルタント(株)

(指名競争入札方式)

業務名	業種区分	指名業者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
皆生海岸測量業務	測量	10	10	平成28年7月12日	(株)ウエスコ

(簡易公募型プロポーザル方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方
温井ダム管理フォローアップ検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	3	3	平成28年7月20日	温井ダム管理フォローアップ検討業務 水源環境センター・建設環境研究所 設計共同体

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
中国地方整備局デジタル端末局装置製造(東系)	製造[電気・通信用機器類]	1	1	平成28年9月5日	富士通株式会社

別紙2

意見・質問	説明、回答
1. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>Q 1. 談合疑義による調査の結果、談合ではないが疑義が払拭できず、入札取りやめとなった2件については、再発注を行うのか。 また、疑義の原因となった者が参加してきた場合は、どのように扱うのか。</p> <p>Q 2. 低入札調査に該当した工事では、結果として低入札価格で契約しているが、当価格でも大丈夫と判断した根拠は何か。</p>	<p>A 1. 2件とも再発注を行うものであり、1件は既に発注済みである。 今回、疑義の原因となった者については、談合等の行為を行ったと明確に認められた訳ではないので、再発注した案件においても、今回の疑義を理由とした排除等は行えない。</p> <p>A 2. 低入札に該当した者から、下請等の施工体制、配置予定の技術者、資材の購入予定先など、品質確保に関する詳細資料の提出を求め、さらにヒアリングを実施した結果、当価格での施工が可能と判断し、契約締結を行ったものである。</p>
(2) 抽出事案審議	
1) 倉敷立体高梁川大橋下部その9工事	
<p>Q 1. 昨年度も同様の発注をしているとのことだが、同規模の発注か。</p> <p>Q 2. コストを比較した場合、分割発注と一括発注ではどちらが安価なのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 過年度は、地元企業に配慮し、橋脚1基ごとに分割して発注を行ったが、現場管理・工程管理が困難であったため、本件については、工事工程を考慮し、河川内の残りの橋脚を一括して発注を行った。</p> <p>A 2. 一括発注して工事の規模が大きくなれば、直接工事費に対する間接工事費の率が上限に達し、低く抑えられるため、一括発注の方が全体的には、安価になると考えている。</p>
2) 国道54号甲田外舗装修繕工事	
<p>Q 1. 当初予定の舗装面積と実際の舗装面積が違うのはなぜか。</p>	<p>A 1. 契約締結後に詳細な調査を行い、早急に修繕が必要と思われる箇所を優先し、施工箇所及び施工範囲を決定したためである。</p>

<p>Q 2. 総合評価項目の配置予定技術者の「同種工事の施工実績」で実績がない場合にも3.5点の加点があるのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 2. 業界からの要望により、現場を担当する技術者の実績についても、管理技術者や主任技術者と同等に評価するよう改めた経緯から、以前の3段階評価が2段階評価となり、0点がなくなったもの。より同種性の高い工事の実績がなくても加点されるため、改善すべき事項として認識はしている。</p>
<p>3) 国道2号・54号細野橋外橋梁補修工事</p> <p>Q 1. 施工箇所が広範囲に点在しているが、分割発注は検討しなかったのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は、橋梁の補修工事であるため、安全面から早急な補修が求められており、また施工対象の橋梁が全て同規模であったことなどから、総合的に勘案し、一括発注した方が効率的であると判断したものである。</p>
<p>4) 芦田川河口堰ゲート整備工事</p> <p>Q 1. 応札が2者と少ないが、これまでの他のゲート整備工事も同様に参加者が少ないのか。</p> <p>Q 2. 2者とも応札金額が調査基準価格に近いが、調査基準価格はどのように決めているのか。</p> <p>Q 3. 本工事でゲートの操作盤も更新したとのことだが、別発注の堰コンピュータの更新と一緒に発注した方が良いのではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 毎年度2ゲートずつ整備工事を発注しているが過去も参加者は少なく、直近の3年でも今回の2者のみの参加となっている。</p> <p>A 2. 本工事の予定価格は、標準歩掛と特別調査と呼ばれるメーカーや専門業者からの見積りにより算出しており、算出された予定価格に定められた率を乗じることにより、調査基準価格を算出している。</p> <p>A 3. 本工事で更新した操作盤は、堰コンピュータからの遠隔操作ができなくなった場合など、ゲートを直接操作するためのもので、ゲート付近に設置され、ゲート設備の一部であるため、本工事で整備を行ったものである。</p>
<p>5) 苫田ダム放流警報設備工事</p> <p>Q 1. 総合評価項目の配置予定技術者の「工事成績」は「70点以下又は実績なし」だと加点なしだが具体的にはどのような状況を指すのか。</p> <p>Q 2. 国交省での実績がない業者は、県や市の実績があっても総合評価で加点されず、受注が難しくなっているのではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 工事成績評定の付与方法は、国交省とそれ以外の地方公共団体等とは共通化されておらず、評価が困難であるため、国交省以外の実績しかない場合は実績なしとして扱い、加点を行っていない。また、70点は基礎点であり、それ以下の工事成績については、加点しないこととしている。</p> <p>A 2. 現在の評価方法が必ずしも最良だとは思っていないが、県や市での成績点を同様に評価する方法がなく、模索している状況である。ただ、一般土木工事では、国交省と県で成績点の付与方法を共通化するなど動きはあるので、少しずつ改善していきたいと考えている。</p>
<p>6) 下関合同庁舎建築その他改修工事</p>	

<p>Q 1. 応札した3者のうち、2者が予定価格を大きく超過しているが、考えられる理由はあるか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事の積算においては、約3割を専門工事業者からの見積を基に算出しており、応札者の見積先により、金額に差異が生じたのではないかと考えている。</p>
<p>7) 小瀬川高潮堤防詳細設計外業務</p> <p>Q 1. 参加表明書を提出したが、指名されなかった2者の理由は。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 参加要件の同種業務実績として高潮区間における護岸の詳細設計の実績を求めていたが、2者は高潮区間以外での実績を提出してきたため、同種業務の実績がないと判断し、参加要件を満たしていないため、非指名としたものである。</p>
<p>8) 皆生海岸測量業務</p> <p>Q 1. 調査基準価格と同額で入札した者が2者いるが、推測しやすい業務なのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本業務は毎年発注しており、積算についても標準積算と業者からの歩掛見積により算出し、いずれも公表されていることから、調査基準価格の推測は難しくないと考えている。</p>
<p>9) 温井ダム管理フォローアップ検討業務</p> <p>Q 1. 5年毎に発注しているとの事だが、前回ほどの業者が落札したのか。</p> <p>Q 2. 自然環境への影響などの経年分析を行うためには、同じ業者が継続して業務を実施した方が良いのではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 今回と同じ共同体の落札であった。</p> <p>A 2. そのような考えもあるが、随意契約を締結するためには、この業者でなければならないという理由が必要となる。本業務の内容は、毎年別途行われる環境調査の結果等を分析・調査し、とりまとめるものであることから、理由付けは難しいと考えている。</p>
<p>10) 中国地方整備局デジタル端局装置製造（東系）</p> <p>Q 1. 参加が1者と少ないが、要因はあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本件は既設回線からの切り替え作業を、中国4県にまたがり行わなければならない、技術者の確保が困難であることなどが要因の一つではないかと考えている。</p>
<p>(3) 再苦情処理の報告 該当事案なし</p>	
<p>平成28年度 入札監視委員会 第4回定例会議（第一部会）</p> <p>平成29年3月13日（火） 14:00～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 河合委員</p>	